

事業番号	14 09 03	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校体育実技指導費			担当課	部局	教育委員会事務局
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	スポーツ課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実		E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp	
		3 豊かな心と健やかな身体の育成		実施期間	H13 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<input type="checkbox"/> 講習会への参加を通して、教員の体育学習における指導力向上を目指す。 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育科の授業や運動部活動に専門的な指導者を派遣し、より効果的な指導を通して児童生徒の体育・スポーツ活動における知識・技能・態度の充実・向上を目指す。	
現状	<input type="checkbox"/> 本事業により、専門的な技術指導による児童・生徒の技能の向上や運動部活動の活性化が図られてきている。 <input type="checkbox"/> 部活動への指導者派遣については、競技経験がない種目を担当する顧問が増加しており高いニーズがあることから、今後も国の制度の活用などにより継続していく必要がある。 <input type="checkbox"/> 学校体育への指導者の派遣については、小学校の水泳指導者派遣のニーズが高く、また、中学校での武道、ダンスの必修化に伴う派遣要請も想定されることから、引き続き継続していく必要がある。	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input checked="" type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 国庫委託金を有効活用しながら実施することが効果的である 文部科学省委託事業

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<input type="checkbox"/> 小学校体育実技指導者講習会は、26人の参加を得る <input type="checkbox"/> 学校体育実技(武道)講習会は、20人の参加を得る <input type="checkbox"/> 学校体育実技協力者派遣事業は、68校に派遣する <input type="checkbox"/> スポーツエキスパート活用事業は80人派遣する。 <input type="checkbox"/> 運動部活動地域連携再構築事業は、51校の中学校に地域スポーツ人材を派遣する。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H24事業実績		
				(当初)	(決算)	(当初)
		小学校体育実技指導者講習会	直接	中央講習会の内容を伝達(参加者数29人)	172	100
	学校体育実技(武道)講習会	直接	武道必修化に向けた武道経験のない教員に対する武道理論・実技研修(参加者数63人(剣道 33人、柔道30人))	468	406	468
	学校体育実技指導協力者派遣事業	直接	学校体育の授業で実施する種目への指導者派遣84校(水泳:小学校66校 水泳以外:中学校13校 高等学校5校)	2,028	2,073	1,768
	スポーツエキスパート活用事業	直接	専門的な指導者が不足している高等学校の運動部活動への指導者派遣(派遣人数77人、派遣回数年間20回/人)	5,552	5,344	5,483
	運動部活動地域連携再構築事業	委託	指導者不足が深刻な中学校部活動における地域人材の活用についての研究実施(実践中学校45校)	3,424	1,563	3,379
			合計	11,644	9,486	11,186

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		当初予算	16,777	13,444	11,644	11,186			目標	成果	達成状況	
		補正予算					体育指導者講習会参加者数	26人	26人	29人	達成	26人
		合計(A)	16,777	13,444	11,644	11,186	武道講習会参加者数	24人	20人	63人	達成	20人
	Aの財源	国庫支出金	7,795	4,938	3,424	3,379	実技協力者派遣校数(学校体育)	82校	68校	84校	達成	68校
		県債					スポーツエキスパート派遣者数(高校部活)	81人	80人	77人	未達成	79人
		その他()					地域スポーツ人材派遣校数(中学校部活)	47校	51校	45校	未達成	10校
		一般財源	8,982	8,506	8,220	7,807						
	決算額(B)	12,659	10,774	9,486								
概算人件費	職員数(人)	3.00	3.00	2.00	2.00							
	概算人件費(C)	24,951	24,774	16,516	16,516							
	概算事業費(B(A)+C)	37,610	35,548	26,002	27,702							

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・武道講習会では、武道必修化に伴い参加者数が柔道30人、剣道33人、計63人と目標数値を大きく上回った。 ・スポーツエキスパート活用事業では、当初80人を承認したが、その後指導者の都合により指導できなくなり、一部目標が未達成となった。 ・運動部活動地域連携再構築事業(地域スポーツ人材派遣)では、文部科学省からの委託費が減額されたため目標を達成できなかった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・24年度まで2日間で行っていた小学校体育実技講習会は、受講者の負担軽減と授業時数確保のため、効率よく1日で研修ができるように内容を精選する。また、受講者には、郡市の伝達講習会の講師になることの自覚を促し、本県の小学校体育指導者の資質を高めたい。 ・武道学習の安全確保と指導力向上のため、武道講習会を引き続き実施していく。 ・国庫委託事業である運動部活動地域連携再構築事業については、平成25年度から再委託が認められなくなるため、モデル校方式により、スポーツ課が直接執行する。